

頁	行	修正前	→ 修正後
第3章 121	上から1行目	シールドガスは、アルゴンやヘリウムなどの不活性ガス、又はこれに少量(1～5%)の酸素や炭酸ガスを加えた混合ガスを用いる。	シールドガスは、アルゴンやヘリウムなどの不活性ガスを用いる。また、アルゴンに2%程度の酸素を加えた混合ガスや5%程度の炭酸ガスを加えた混合ガスを用いる場合は、完全な不活性ガスではないためミグ溶接に分類されるが、慣例的にミグ溶接として取り扱われることもある。
第4章 213	上から9行目 上から17行目	2相合金	→ 二相ステンレス鋼
第5章 237 238	表5.5 表5.6、図5.16	本書では、JIS B 0134:1998「産業用マニピュレーティングロボット用語」を参照しているが、このJIS規格は2015年に、JIS B 0134:2015「ロボット及びロボティックデバイス用語」として改正された。この改正によって、用語とその定義が変更されている。詳しくは、JIS規格を参照願います。	
252	上から9行目	そのため、日本工業規格には、メーカー側に対する安全規格を定めたJIS B 8433「産業用ロボットの安全通則」	そのため、日本工業規格には、産業用ロボットに対する安全規格を定めたJIS B 8433:2015「ロボット及びロボティックデバイス—産業用ロボットののための安全要求事項—」 第1部:ロボット 第2部:ロボットシステム及びインテグレーション
第6章 263 264	下から8行目 上から10行目	JIS Q 9001	→ JIS Q 9001 : 2008
		JIS Q 9001は2015年に改正されたが、本書は、2008年版で解説しているので、その改正年を記載する。	
285	下から10行目	「しゃ光眼鏡」	→ 「遮光保護具」
290	表6.1	JIS T 8141「しゃ光保護具」	→ JIS T 8141「遮光保護具」
		JIS T 8113「溶接用革製保護手袋」	→ JIS T 8113「溶接用かわ製保護手袋」
		JIS T 8101「革製安全靴」	→ JIS T 8101「安全靴」
		JIS T 8131「産業用安全帽」	→ JIS T 8131「産業用ヘルメット」
		鉱山用安全帯 JIS M 7624「鉱山用安全帯」	→ 安全帯 JIS T 8165「安全帯」
第7章 301	図7.1	(C)引張応力 (D)圧縮応力	→ (c)引張応力 (d)圧縮応力
322	下から1行目	1.5又は $1.5\sqrt{3}$ が安全係数である。	→ 1.5が安全係数である。